

事業名	特別支援教育推進費		
細事業名	特別支援教育担当職員研修費	財務コード	157705
担当部課室	教育委員会	高校改革・特別支援教育課	特別支援教育 担当 (内線) 8313

調書番号	113
------	-----

I 事業の概要

実施期間	始期 H14 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	県(直営)		
目的	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか
	小・中・高等学校・特別支援学校・幼稚園の管理職、寄宿舎指導員、特別支援学校教員	特別支援教育に対する知識が深まり、資質向上している	特別支援教育の充実
内容	特別支援教育管理職研修 2回 寄宿舎指導員講習会 1回 摂食指導実技研修会への専門医の派遣 甲府支援学校、あけぼの支援学校、やまびこ支援学校、ふじぐら支援学校で年2回ずつ開催 (8回)		

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
活動指標	各種研修会の開催回数	目標	11	11	11	11	11	11
		実績(見込)	11	11	11	10	11	11
		達成率	100.0	100.0	100.0	90.9	100.0	100.0
		達成区分	b	b	b	b	b	b
成果指標	管理職研修会における理解度	目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		実績(見込)	99.0	100.0	100.0	98.0	99.0	100.0
		達成率	99.0	100.0	100.0	98.0	99.0	100.0
		達成区分	b	b	b	b	b	b
決算(予算) 単位:千円		410	415	413	149	173	205	205

III 事業の評価(平成29年度の業績評価)

活動指標	b	評価	平成28年度の開催回数が少ないのは、降雪により管理職研修会を1回中止のためでありやむを得ない。その他の研修については、当初計画どおり実施しており予定どおりの活動量があった。
成果指標	b		管理職研修会における理解度は、例年98%から100%を推移しており、意図した成果を十分に上げている。

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

IV 見直しの必要性(平成31年度に向けた改善等の考え方)

県関与の必要性	判定	<input type="checkbox"/> 必要性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他 ()
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能 <input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	小・中・高等学校・特別支援学校・幼稚園の管理職等の特別支援教育に対する知識が深まることと共資質向上することで、特別な支援が必要な子供たちの指導・支援が充実する。
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある <input type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()
その他	説明	計画どおりの研修を実施しており、管理職研修会における理解度も高いため、意図した成果を上げている。
見直しの必要性	無	実施方法の変更等は行わないが、特別支援教育を取り巻く環境の変化や国の動向を踏まえながら充実した内容の研修を実施し、受講者の知識習得及び資質向上を図る。

V 見直しの方向(平成31年度当初予算等での対応状況)

現行どおり	説明	
-------	----	--

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。